

# エリナ・リグビーとボクとキミ

—固有名詞、人称の邦・洋楽詞比較—

清水 翔太

(東北大学文学研究科博士後期課程)

“Rocky Raccoon checked into his room, Only to find Gideon's Bible……”

ビートルズの9枚目のアルバム『ホワイト・アルバム』に収録されている「ロッキー・ラクーン」の歌詞である。ここでは詞の主人公であるロッキーがいわゆる三人称形式によって物語られており、その際には“Rocky Raccoon”という固有人名が使用されている。

こうしたタイプの歌詞は「ビリー・ジーン」や「ワイルドサイドを歩け」など多くの洋楽詞に散見される。

対して邦楽においては三人称形式の詞、かつ固有人名の使用がある楽曲は非常に稀である印象を受ける。

(「サッチャン」、「与作」などの楽曲はあるが、それらは邦楽のメインストリームとは言い難いだろう)

しかし、邦楽詞と洋楽詞の間には本当にそのような有意差があるのだろうか。そして、もしそこに明らかな差があるのだとしたらそれは如何なる理由から来ているのだろうか。

そうした問いをヒットチャートや、珍しいタイプの歌詞の紹介などを通して考えていきたい。

2016年9月28日(水) 16:00~18:00

文学研究科棟〔F棟〕3階中会議室

どなたでも興味のある方の来聴を歓迎します(事前申し込み不要)

主催者: 情報科学研究科・森田直子 文学研究科・森本浩一

お問い合わせ: [xkc-m2rt@m.tohoku.ac.jp](mailto:xkc-m2rt@m.tohoku.ac.jp) (森本)